

課 - 2

国語科教師教育の課題と方法

(2) 教育実習指導のあり方

お茶の水女子大学附属中学校 田中 美也子

本発表では、「総合大学附属校における教育実習指導の現状と課題」と題して、所属校における実習指導のあり方について、現状を踏まえつつ検討を加えることにする。

本校のような、教員養成大学ではない附属校としての教育実習指導に対する使命と役割は何か。また、どのようなねらいと内容をもって行うべきなのか。初任者研修教育の指導のねらいと内容も一方でにらみつつ、実習指導のあり方を探ってみたい。

発表内容については、次のような事項をとりあげる。

I. 所属校における教育実習指導の現状について

- ・実習生受け入れの概要と本校の特徴
- ・本校国語科としての実習指導の方針と内容

II. 実習指導のあり方と課題

- ・本校実習指導の評価
- ・問題点と今後の課題

Iについては、特に本校独自の制度と思われる「観察参加期間」の内容とその意味について触れ、検討を加えたい。

IIについては、実習生に対するアンケート結果や、実習後の感想文を取り上げて、「実習によって何を学んだか」「どのような意識の変化が見られたか」という観点から学生の現状認識をとらえ、現場実践人として考える新任教員のあるべき姿から見ての問題点という視点からの検討を加えたい。

以上のような内容を踏まえ、国語科実習指導のポイントをどこに置くべきかを探ってみたい。